

福知山市告示第225号

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2第1項後段の規定に基づき、令和2年4月1日から令和2年9月30日までの期間における病院事業の業務状況を次のとおり公表します。

令和2年12月1日

福知山市長 大橋 一夫

福知山市病院事業業務状況報告書

(令和2年4月1日～令和2年9月30日)

1 事業の概況

市立福知山市民病院 本院の当期末の延べ患者数は、入院は 54,607人（一日平均 298.4人）となり前年度同期に比し 4,021人（一日平均 22.0人）の減少、外来は 109,642人（一日平均 898.7人）となり前年度同期に比し 11,169人（一日平均 99.7人）の減少となりました。

設備関係につきましては、人工呼吸器、体温スクリーニング装置、仮設検査室など、新型コロナウイルス感染症患者の受入れに必要な機器等のほか、腫瘍内科・外科の超音波診断装置、薬剤部の全自動錠剤分包機等医療機器の整備・更新を進めました。

収支につきましては、患者数減少の影響を診療単価の伸びがカバーしたことと、新会計基準の適用により医業外収益及び特別利益が増加したことにより収益合計では前年比3.53%の増となりましたが、給与費、材料費や経費等の増加により費用が前年比7.29%の増となった結果、当期は438,849,184円の純利益の計上となりました。

大江分院の当期末の延べ患者数は、入院は 10,023人（一日平均 54.8人）となり前年度同期に比し 1,475人（一日平均 8.1人）の減少、外来は 7,815人（一日平均 64.1人）となり前年度同期に比し 91人（一日平均 1.3人）の減少となりました。

収支につきましては、診療単価が伸びたものの患者数の減少により医業収益が減少しましたが、本院と同様新会計基準の適用により医業外収益及び特別利益が増加したことと、経費を除く費用が減少した結果、当期は 42,307,818円の純利益の計上となりました。

この結果、病院事業全体では前年度同期比 25.02%減の 481,157,002円の純利益を計上しました。

2 経理の状況

令和2年度 上半期福知山市病院事業収支計算書

収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	6,272,546,940	入院収益、外来収益、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	286,031,494	受取利息、補助金、院内保育所収益、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 看護学校収益	5,775,291	授業料収益、その他看護学校収益
4 訪問看護収益	13,610,362	訪問看護収益、居宅介護支援収益
5 特 別 利 益	25,652,825	その他特別利益
合 計	6,603,616,912	

費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	5,933,451,615	給与費、材料費、経費、減価償却費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	140,620,970	支払利息、院内保育所費、長期前払消費税償却、雑支出
3 看護学校費用	34,041,841	給与費、経費、減価償却費
4 訪問看護費用	14,345,484	給与費、経費
合 計	6,122,459,910	

(内 訳) 本院分

収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	5,973,334,344	入院収益、外来収益、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	250,209,334	受取利息、補助金、院内保育所収益、長期前受金戻入、その他医業外収益
3 看 護 学 校 収 益	5,775,291	授業料収益、その他看護学校収益
4 特 別 利 益	23,312,174	その他特別利益
合 計	6,252,631,143	

費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	5,641,728,350	給与費、材料費、経費、減価償却費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	138,011,768	支払利息、院内保育所費、長期前払消費税償却、雑支出
3 看 護 学 校 費 用	34,041,841	給与費、経費、減価償却費
合 計	5,813,781,959	

(内 訳) 大江分院分

収 益

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 収 益	299,212,596	入院収益、外来収益、その他医業収益
2 医 業 外 収 益	35,822,160	長期前受金戻入、その他医業外収益
3 訪 問 看 護 収 益	13,610,362	訪問看護収益、居宅介護支援収益
4 特 別 利 益	2,340,651	その他特別利益
合 計	350,985,769	

費 用

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
1 医 業 費 用	291,723,265	給与費、材料費、経費、減価償却費、研究研修費
2 医 業 外 費 用	2,609,202	支払利息、長期前払消費税償却、雑支出
3 訪 問 看 護 費 用	14,345,484	給与費、経費
合 計	308,677,951	

令和2年度 上半期福知山市病院事業貸借対照表

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	16,308,660,658	1 企業債(固定負債)	8,351,171,216
2 投資その他の資産	361,413,044	2 引当金(〃)	309,062,945
3 現金預金	4,213,414,530	3 企業債(流動負債)	396,522,372
4 未収金	2,182,859,386	4 未払金	612,585,918
5 貯蔵品	33,598,691	5 預り金	51,152,312
6 前払金	8,700,000	6 その他流動負債	20,646,461
7 前払費用	6,620,040	7 長期前受金	1,276,055,698
8 その他流動資産	274,172,725	8 自己資本金	4,967,857,092
9 貸倒引当金(△)	5,171,895	9 資本剰余金	7,380,195,999
		10 欠損金(△)	462,139,836
		11 当期純利益	481,157,002
合計	23,384,267,179	合計	23,384,267,179

(減価償却累計額 12,688,087,718 円)

(長期前受金収益化累計額 3,443,560,443 円)

(内訳) 本院分

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	15,503,810,103	1 企業債(固定負債)	7,914,191,425
2 投資その他の資産	336,460,075	2 引当金(〃)	279,378,772
3 現金預金	4,057,055,484	3 企業債(流動負債)	381,318,278
4 未収金	2,060,118,167	4 未払金	599,007,095
5 貯蔵品	33,598,691	5 預り金	51,151,082
6 前払金	8,700,000	6 その他流動負債	20,242,029
7 前払費用	6,604,200	7 長期前受金	999,889,228
8 その他流動資産	268,317,555	8 自己資本金	4,967,857,092
9 貸倒引当金(△)	5,171,895	9 資本剰余金	7,278,156,635
		10 欠損金(△)	660,548,440
		11 当期純利益	438,849,184
合計	22,269,492,380	合計	22,269,492,380

(減価償却累計額 12,156,911,474 円)

(長期前受金収益化累計額 2,940,560,602 円)

(内訳) 大江分院分

(単位 円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
1 有形固定資産	804,850,555	1 企業債(固定負債)	436,979,791
2 投資その他の資産	24,952,969	2 引当金(〃)	29,684,173
3 現金預金	156,359,046	3 企業債(流動負債)	15,204,094
4 未収金	122,741,219	4 未払金	13,578,823
5 前払費用	15,840	5 預り金	1,230
6 その他流動資産	5,855,170	6 その他流動負債	404,432
		7 長期前受金	276,166,470
		8 自己資本金	0
		9 資本剰余金	102,039,364
		10 利益剰余金	198,408,604
		11 当期純利益	42,307,818
合計	1,114,774,799	合計	1,114,774,799

(減価償却累計額 531,176,244 円)

(長期前受金収益化累計額 502,999,841 円)

3 企業債

(本院分)

(単位 円)

区分	前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
政府企業債 平7年度	3,153,588	0	240,804	2,912,784
〃 〃 10 〃	353,897,745	0	17,964,250	335,933,495
機構企業債 〃 14 〃	452,570,429	0	19,202,244	433,368,185
〃 〃 15 〃	297,020,427	0	11,077,010	285,943,417
〃 〃 16 〃	312,056,868	0	10,500,853	301,556,015
〃 〃	212,256,022	0	7,142,510	205,113,512
政府企業債 〃	1,736,447,578	0	47,682,778	1,688,764,800
機構企業債 〃 17 〃	1,283,114,982	0	39,936,230	1,243,178,752
政府企業債 〃	2,066,022,649	0	54,216,180	2,011,806,469
機構企業債 〃 18 〃	242,277,420	0	6,912,603	235,364,817
政府企業債 〃	156,801,133	0	3,861,385	152,939,748
〃 〃 27 〃	67,651,333	0	33,817,212	33,834,121
〃 〃 28 〃	155,915,590	0	38,975,974	116,939,616
〃 〃 29 〃	34,501,725	0	5,749,569	28,752,156
〃 〃	98,400,000	0	0	98,400,000
〃 〃 30 〃	162,000,000	0	0	162,000,000
〃 〃	654,500,000	0	81,798,184	572,701,816
〃 令元 〃	386,000,000	0	0	386,000,000
本院分 小計	8,674,587,489	0	379,077,786	8,295,509,703

(大江分院分)

(単位 円)

区分	前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
政府企業債 平11年度	61,047,891	0	2,772,509	58,275,382
〃 〃 12 〃	1,199,138	0	597,180	601,958
機構企業債 〃 15 〃	2,417,609	0	90,162	2,327,447
〃 〃 16 〃	29,485,199	0	992,190	28,493,009
〃 〃	20,350,446	0	993,567	19,356,879
〃 〃	1,242,481	0	621,085	621,396
〃 〃	184,066,811	0	8,322,832	175,743,979
政府企業債 〃 27 〃	1,527,288	0	763,453	763,835
〃 〃	166,000,000	0	0	166,000,000
大江分院分 小計	467,336,863	0	15,152,978	452,183,885

合計	9,141,924,352	0	394,230,764	8,747,693,588
----	---------------	---	-------------	---------------

4 令和元年度(前年度)決算状況

令和元年度の病院事業の運営につきましては、福知山市民をはじめ近隣市町住民の高度・多様化する医療ニーズに応えるため、引き続き医療スタッフの確保や医療機器の更新・整備を進め医療提供体制の充実に努めました。

施設・設備につきましては、放射線科に新たにMRI装置(3テスラ)を増設し、令和元年9月から新機器による診療を開始したほか、臨床検査科の生理検査部門システムや栄養科の温冷配膳車の更新をはじめとする医療機器等の整備を進めました。また、疾病状況や患者数の動向等を勘案し、本院の結核病床4床を一般病床に変更(9月から)し、分院においては一般病床4床を減少(8月から)するなど効率的事業運営に努めました。

患者数につきましては、本院、分院併せて388,346人と、前年度に比し7,008人の減少となりました。特に本院では3月に新型コロナウイルス感染症患者が発生し診療機能の一部制限を余儀なくされ、患者数が大幅に減少しました。

そのため、本院の収支につきましては、診療収入が伸び悩む一方で、がん治療薬をはじめとする高額な薬品等の材料費や給与費等の支出が増加し、医業収支では損失を計上しました。なお、本年度につきましては、平成26年度から改正された会計基準に準拠し会計処理を行ったため医業外収益が増加し、経常収支では黒字を維持することができました。また、同じく会計基準に沿った過年度損益の修正により計上した特別利益が影響し、1,391,729千円の当期純利益となったため、累積欠損金が大幅に減少することとなりました。

大江分院の運営につきましては、人口動態等による受診患者数の減少等により診療収入が減少しましたが、本院と同様に改正会計基準準拠に伴う特別利益等が寄与し、本年度は178,000千円の純利益を計上しました。

市民病院について

(1) 収支の状況

収益的収入14,590,794,330円に対し、収益的支出13,199,065,066円で収支差引1,391,729,264円の当年度純利益となりました。

(2) 患者の状況

年度末の受診患者延数は入院 115,322人(1日平均 315.1人)、外来 235,110人(1日平均 979.6人)となりました。病床利用率は89.01%(一般病床91.79%、結核病床9.29%、感染症病床4.10%)となり、前年度に比し、一般病床で△2.24%、結核病床で△0.71%と減少し、感染症病床は新型コロナウイルス感染症により4.10%の増加となりましたが、全体では△1.59%と減少しました。

大江分院について

(1) 収支の状況

収益的収入988,653,255円に対し、収益的支出810,653,550円 で収支差引177,999,705円の当年度純利益となりました。

(2) 患者の状況

年度末の受診患者延数は入院 22,407人(1日平均 61.2人)、外来 15,507人(1日平均 64.6人)、病床利用率は88.30%(一般病床85.47%、療養病床92.48%)となり、前年度に比し、一般病床で2.84%、療養病床で△3.41%、全体では0.51%と増加しました。